

令和7年度 公開臨海実習 実施要項

1. 授業科目 公開臨海実習 2単位 (大学院、学部) 担当 清本正人
2. 実施場所 お茶の水女子大学湾岸生物教育研究所 (千葉県館山市香11)
3. 実施期間 令和7年9月11日(木)～9月15日(月)
4. 対象学生 国立・公立・私立大学の自然科学系に所属する大学院生
国立・公立・私立大学の生物学関連学科に所属する学部学生
5. 定 員 10名
6. 担当教員 清本正人、服田昌之、宇田川澄生 (お茶の水女子大学)
森田俊平 (お茶の水女子大学・東北大学)
松本有記雄 (東京海洋大学)
Gary Wessel (ブラウン大学、アメリカ)

7. 実習内容

いろいろな海産動物の生活史・生態と生殖発生研究の展開

棘皮動物、サンゴ、魚類を材料に多様な海産動物の生殖、発生、生態について実習します。さらに、ゲノム編集などの新しい研究手法を使った研究を紹介します。一部の講義実習は英語で行われます。最終日には実習で学んだ内容について発表を行います。

- ・棘皮動物(ウニ、ヒトデ、ナマコ)の幼生と五放射の成体への形態形成
- ・ホヤの解剖と発生観察
- ・ゲノム編集の仕組みと海産生物研究への適用(英語の講義、実習)
- ・ノックアウトウニの作成とそれを使った受精発生実験
- ・海洋酸性化の動物発生への影響
- ・水中ドローンによる北限域の造礁サンゴ群集の観察
- ・魚類の繁殖に関わる行動と形態の観察

8. 参加費用 滞在費用は食事込みで1日2,000円程度

9. E-mailによる受講の希望理由の提出

受講申込み時に文書の申込みとは別途、願書に記載したE-mailアドレスから、学生本人が kiyomoto.masato@ocha.ac.jp へ受講の希望理由(500字程度)を送って下さい。

10. 申込期限 令和7年6月16日(月)(必着)

11. 受講の可否

決定後、ただちに学生本人へE-mailで連絡します。また、所属大学宛に郵送で連絡します。

12. 問合せ先

○実習に関して

お茶の水女子大学湾岸生物教育研究所

Tel: 0470-29-0838 Fax: 0470-20-9011

E-mail: kiyomoto.masato@ocha.ac.jp Website: <https://www.cf.ocha.ac.jp/marine/index.html>

○手続きに関して

お茶の水女子大学学務課

Tel: 03-5978-5288 Fax: 03-5978-5893 E-mail: rigaku@cc.ocha.ac.jp

13. 注意事項

- (1) 所属大学の単位として認定されるかは、所属大学の学務・教務担当係に確認して下さい。
- (2) 受講の申込み(必要書類の提出等)は、所属大学の学務・教務担当係を通じて行って下さい。ただし、E-mailによる希望理由の提出は、学生本人が申込時に行って下さい。
- (3) 英語の講義・実習があります。初日は13時30分集合、最終日は昼食後に解散です。

(大学院生用)

特 別 聴 講 学 生 願 書

令和 年 月 日

お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科長 殿

所 属 学 部 大学大学院 研究科 (課程)
学 科 ・ 学 年 専 攻 年
学 籍 番 号 _____
(ふりがな)
氏 名 _____ 印
生 年 月 日 昭和・平成 年 月 日 生 男・女

下記のとおり、貴研究科の授業科目を履修したいので、関係書類を添えて提出します。

記

1. 履修期間 令和7年9月11日(木)～9月15日(月)

2. 授業科目・単位及び担当教員

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	学 期	年 度
公開臨海実習	2	清本他	通 年	7

3. 現住所

〒 _____
TEL _____
E-mail _____

4. 保護者連絡先

〒 _____
TEL _____
保護者氏名 _____ 続柄 ()

5. 在籍大学指導教員

(注) 履修希望学生は、学生教育研究災害傷害保険（もしくはこれに相当する保険）に加入していること。

令和 年 月 日

お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科長 殿

所属長

氏名

公印

推 薦 書

下記の学生は、貴研究科で実施する公開臨海実習の特別聴講学生として適当と認め、推薦します。

については、国立大学法人お茶の水女子大学派遣学生及び特別聴講学生規程に基づき、授業料については相互に不徴収としていただきますようご高配願います。

記

所属：

学年：

氏名：

科目名：公開臨海実習